

2023年12月20日

## ワークス採用見通し調査（新卒：2025年卒）

### 新卒採用の充足率は75%を割る。引き続き高い採用意欲 —大手企業の半数程度でインターンシップ（タイプ3）実施見込み—

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）内の、人と組織に関する研究機関・リクルートワークス研究所は、民間企業における、2025年卒の新卒者を対象とした採用見通しに関する調査を行いました。このたび結果がまとまりましたのでご報告いたします。

#### 【2025年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）】詳細3～5ページ

- 新卒採用数が「増える」企業の割合は15.6%であり、「減る」は4.8%であった。「増える－減る」のポイントは+10.8%ポイントで、2024年卒の+11.9%ポイントから減少した。「増える」は2024年卒の15.5%から横ばいだが「減る」が2024年卒の3.6%から+1.2%ポイントとなり、「増える－減る」のポイントが減少した。
- 従業員規模別、業種別ともに全ての区分において「増える」が「減る」を上回った。従業員規模別では、1000人未満企業に比べて1000人以上企業の方が「増える－減る」のポイントが大きい。業種別では、機械器具製造業（+15.5%ポイント）、情報通信業（+14.8%ポイント）、飲食店・宿泊業（+14.4%ポイント）、小売業（+14.2%ポイント）で「増える－減る」のポイントが大きい。

#### 【新卒採用見通しの前年比較の推移（大学生・大学院生）】詳細9～10ページ

- 「増える－減る」のポイントは+10.8%ポイントであった。コロナ禍による景況感悪化のため、2022年卒は10年間続いた採用数増加の傾向が途絶え、マイナスとなった（-3.9%ポイント）。その後、2023年卒、2024年卒では一転して「増える－減る」のポイントが増加したが、2025年卒についてはやや減少した。
- 2024年卒に比べて「増える－減る」のポイントは減少したものの、依然として「増える」の割合が「減る」の割合を大きく上回っており、採用意欲は引き続き高い傾向にある。

#### 【2024年卒採用における充足率（大学生・大学院生）】詳細11ページ

- 10月1日時点の2024年卒の新卒採用の充足率（=2023年10月1日時点の内定数÷2023年4月時点の採用予定数）は74.7%となり、前年に引き続き、2014年卒以来でもっとも低い水準となった。高い採用意欲に対し、実際の採用は計画通りに進んでいない状況と考えられる。

#### 【インターンシップ（タイプ3）の実施状況・目的（大学生・大学院生）】詳細12～13ページ

- 汎用的能力・専門活用型インターンシップ（タイプ3）の開始に伴い実施状況と目的を尋ねたところ、「実施済・実施予定」が27.6%となった。従業員規模が大きいほど「実施済・実施予定」の割合が高く、5000人以上企業では53.5%となった。
- 実施目的は「学生の企業・仕事理解の促進」が65.8%と最も高い。特に大手企業ほど高く、「専門人材への早期アプローチ」の選択率は中小企業の方が高かった。

## 【目次】

調査概要	2
2025年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）	3～5
従業員規模別	4
業種別	5
2025年卒者の新卒採用見通し（高校生）	6～8
従業員規模別	7
業種別	8
新卒採用見通しの前年比較の推移	9～10
2024年卒採用の10月1日時点 充足率（大学生・大学院生）	11
汎用的能力・専門活用型インターンシップ（タイプ3）の実施状況	12
汎用的能力・専門活用型インターンシップ（タイプ3）の実施目的	13
業種5区分の内訳	14

## 【調査概要】

調査目的：全国の民間企業を対象に、新卒採用における求人動向を明らかにすること。

### 【2023年調査】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業  
7,750社  
調査項目：2023年度の新卒・中途採用状況  
2024年度の新卒・中途採用見通し  
調査期間：2023年10月2日～11月9日  
回答社数：4,306社（回収率55.6%）  
回収方法：電話・FAX・インターネットにて回収

（参考）

### 【2022年調査】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業  
7,200社  
調査項目：2022年度の新卒・中途採用状況  
2023年度の新卒・中途採用見通し  
調査期間：2022年10月4日～11月9日  
回答社数：4,341社（回収率60.3%）  
回収方法：電話・FAXにて回収

### ＜調査結果を見る際の注意点＞

- 1 %を表示する際に小数第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合があります。
- 2 業種別の表において、業種にその他の区分があるため、大分類の合計社数は回答社数と一致しません。
- 3 充足率（11ページ）のみ従業員規模・業種によりウェイトバックし、他はウェイトバックなしで集計しています。
- 4 業種区分については最後のページに添付しています。なおウェイトバック集計の際は、建設業・製造業・農林水産鉱業を一つのグループとしています。
- 5 回収率は、回収後のエラーチェックを経て外れ値などを除外した数値で計算しています。実際の回収社数は4,332社ですが、明らかに回答ミスなどと判断されるものは除外し、4,306社としています。
- 6 従業員規模は有期雇用者を含みます。

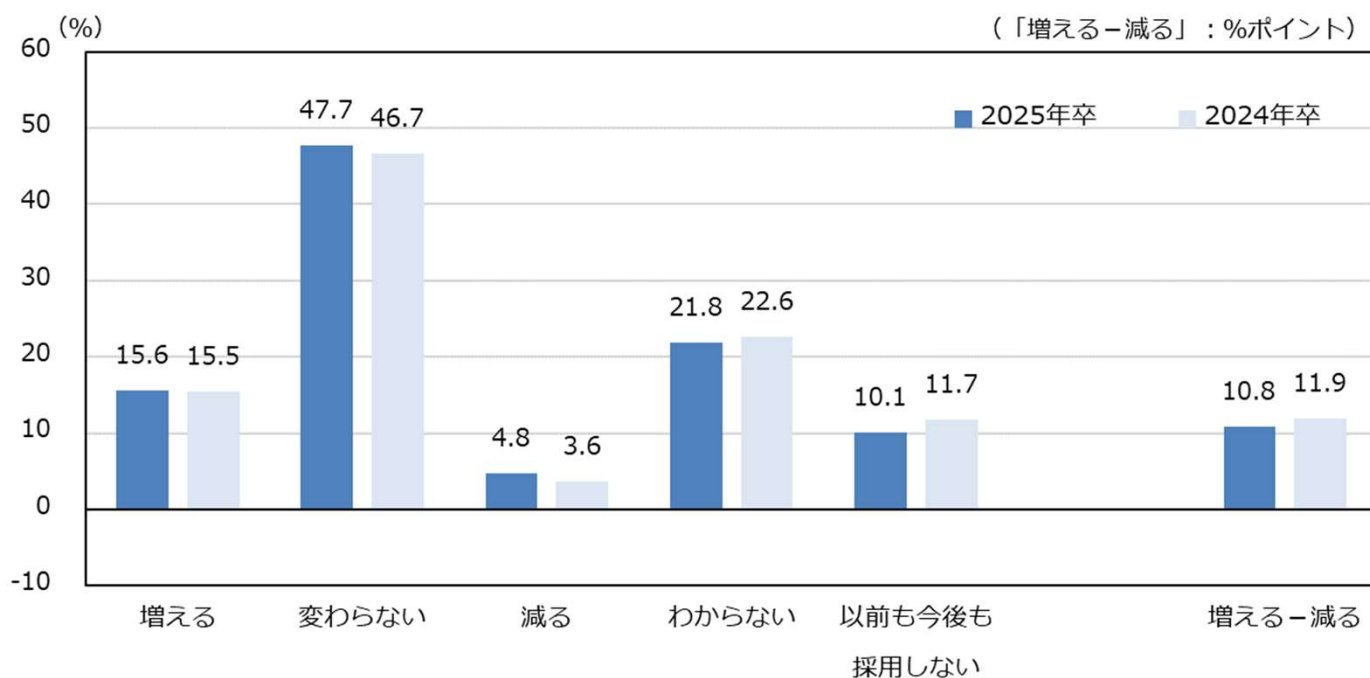
## リクルートワークス研究所について

リクルートワークス研究所は、1999年1月に設立された、株式会社リクルート内にある人と組織に関する研究機関です。「一人ひとりが生き生きと働ける次世代社会の創造」を使命に掲げ、「労働政策」「労働市場」「組織人事」「個人のキャリア」「キャリア教育」「人材ビジネス」などに関する調査・研究、情報発信、提言活動を行っています。

## 2025年卒の採用見通しも「増える」が「減る」を上回る

- 2025年卒の大学生・大学院生を対象とした新卒採用見通しは、「増える」（15.6%）が「減る」（4.8%）を上回った（+10.8%ポイント）。2024年卒は「増える－減る」のポイントが+11.9%ポイントであったため、前年から1.1%ポイントのマイナスとなった。
- 2025年卒の採用見通しは、「増える」が2024年卒の15.5%から15.6%へ0.1%ポイント微増した。また、「減る」は2024年卒の3.6%から4.8%へ1.2%ポイント増加した。「変わらない」は2024年卒の46.7%から47.7%へ1.0%ポイント増加した。
- 「わからない」が2024年卒の22.6%から21.8%へ0.8%ポイント減少し、採用人数の方針が明確化した企業が増加した。また、「以前も今後も採用しない」は10.1%で、2024年卒の11.7%から1.6%ポイント減少となった。

## ■ 図表1 2025年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）



注：一昨年まで「無回答」の項目を掲載していたが、0社であったため、省略した

全体的に採用意欲が高い状況

- 従業員規模別に見ると、全ての従業員規模で「増える」が「減る」を上回った。
- 「増える－減る」のポイントが最も大きい従業員規模は5000人以上企業（+18.0%ポイント）であった。一方、ポイントが最も小さい従業員規模は5～99人企業（+1.7%ポイント）であった。
- 「増える－減る」のポイントは1000人以上企業が+16.3%ポイント、1000人未満企業が+9.0%ポイントであり、従業員規模が大きいほど採用意欲が高い結果となっている。これは、おおむね2024年卒の傾向と同様である。
- 5～99人企業以外の従業員規模では「増える－減る」のポイントが10%ポイントを超えており、全体的に採用意欲が高いことが分かる。

■ 図表2 従業員規模別 2025年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える－減る
<b>全 体</b>	<b>4306</b>	<b>15.6%</b>	<b>47.7%</b>	<b>4.8%</b>	<b>21.8%</b>	<b>10.1%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+10.8</b>
<b>1000人未満</b>	<b>3256</b>	<b>13.9%</b>	<b>45.3%</b>	<b>4.9%</b>	<b>23.1%</b>	<b>12.9%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+9.0</b>
5～99人	917	4.3%	30.3%	2.6%	33.4%	29.4%	0.0%	+1.7
100～299人	1159	15.6%	46.2%	4.8%	22.7%	10.6%	0.0%	+10.8
300～999人	1180	19.6%	56.0%	6.6%	15.4%	2.4%	0.0%	+13.0
<b>1000人以上</b>	<b>1050</b>	<b>21.0%</b>	<b>55.1%</b>	<b>4.7%</b>	<b>18.0%</b>	<b>1.1%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+16.3</b>
1000～1999人	495	19.4%	56.4%	3.0%	19.4%	1.8%	0.0%	+16.4
2000～4999人	338	21.9%	55.0%	6.5%	15.7%	0.9%	0.0%	+15.4
5000人以上	217	23.5%	52.5%	5.5%	18.4%	0.0%	0.0%	+18.0

<参考> 従業員規模別 2024年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

(%ポイント)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える－減る
1000人未満	3248	13.3%	44.3%	3.5%	23.6%	15.3%	0.0%	+9.8
1000人以上	1093	22.1%	53.7%	3.8%	19.5%	0.9%	0.0%	+18.3

## 全ての業種で採用意欲が高い状況

- 業種別に見ると、大分類と中分類ともに、全ての業種で「増える」が「減る」を上回った。
- 大分類で見ると、2024年卒の採用見通しとの比較では、製造業と流通業では「増える－減る」のポイントが増加。建設業、金融業、サービス・情報業では「増える－減る」のポイントが減少した。しかしながら、いずれも「増える」企業の割合が高いことは前年と同様の状況であり、採用意欲が高い結果となっている。
- 中分類で見ると、「増える」が「減る」を大きく上回ったのは、機械器具製造業（+15.5%ポイント）、情報通信業（+14.8%ポイント）、飲食店・宿泊業（+14.4%ポイント）、小売業（+14.2%ポイント）であった。この傾向は2024年卒の採用見通しと大きく変わらない（\*）。

（\*）リクルートワークス研究所「ワークス採用見通し調査（新卒：2024年卒）」

■ 図表3 業種別 2025年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

(%ポイント)								
業種大分類	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える－減る
建設業	397	12.3%	49.4%	3.5%	21.2%	13.6%	0.0%	+8.8
製造業	1355	17.5%	48.9%	4.9%	21.8%	6.9%	0.0%	+12.6
流通業	695	17.6%	52.2%	4.9%	18.4%	6.9%	0.0%	+12.7
金融業	210	14.8%	51.0%	6.7%	25.7%	1.9%	0.0%	+8.1
サービス・情報業	1608	14.2%	44.2%	4.7%	22.8%	14.1%	0.0%	+9.5

業種中分類	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える－減る
建設業	397	12.3%	49.4%	3.5%	21.2%	13.6%	0.0%	+8.8
製造業（機械以外）	766	15.3%	46.5%	4.8%	25.2%	8.2%	0.0%	+10.5
機械器具製造業	589	20.4%	52.1%	4.9%	17.5%	5.1%	0.0%	+15.5
※電気・ガス・熱供給・水道業	37	5.4%	62.2%	0.0%	21.6%	10.8%	0.0%	+5.4
情報通信業	336	19.0%	57.7%	4.2%	15.5%	3.6%	0.0%	+14.8
運輸業	351	11.7%	33.9%	3.4%	23.9%	27.1%	0.0%	+8.3
卸売業	350	14.9%	52.6%	3.7%	20.6%	8.3%	0.0%	+11.2
小売業	345	20.3%	51.9%	6.1%	16.2%	5.5%	0.0%	+14.2
金融・保険業	210	14.8%	51.0%	6.7%	25.7%	1.9%	0.0%	+8.1
※不動産業	68	19.1%	57.4%	7.4%	11.8%	4.4%	0.0%	+11.7
飲食店・宿泊業	152	23.0%	30.9%	8.6%	27.0%	10.5%	0.0%	+14.4
医療・福祉	268	7.8%	42.2%	6.0%	28.4%	15.7%	0.0%	+1.8
※教育・学習支援業	79	12.7%	41.8%	2.5%	32.9%	10.1%	0.0%	+10.2
サービス業（他に分類されないもの）	317	13.6%	45.1%	4.4%	22.4%	14.5%	0.0%	+9.2

注：※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして掲載

<参考> 業種別 2024年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）

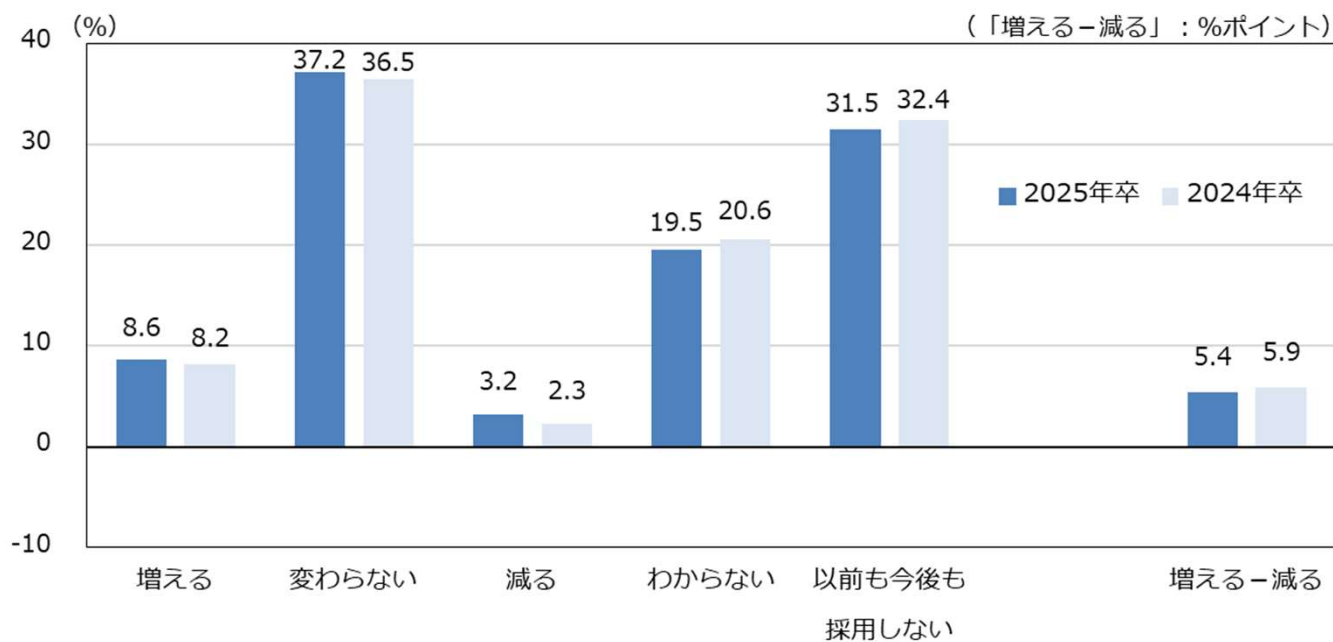
(%ポイント)								
業種大分類	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える－減る
建設業	329	14.0%	51.1%	4.3%	18.2%	12.5%	0.0%	+9.7
製造業	1411	15.4%	47.3%	3.4%	23.3%	10.6%	0.0%	+12.0
流通業	749	16.7%	49.5%	4.9%	20.0%	8.8%	0.0%	+11.8
金融業	226	15.0%	53.1%	1.8%	27.0%	3.1%	0.0%	+13.2
サービス・情報業	1583	15.4%	43.0%	3.2%	23.2%	15.2%	0.0%	+12.2

注：業種大分類において、「製造業」は中分類の製造業（機械以外）、機械器具製造業、「流通業」は卸売業、小売業、「サービス・情報業」は電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、不動産業、飲食店・宿泊業、医療・福祉、教育・学習支援業、サービス業（他に分類されないもの）を含む分類である

### 高校生の新卒採用においても、「増える」が「減る」を上回る

- 2025年卒の高校生を対象とした新卒採用見通しは、前年に続き「増える」（8.6％）が「減る」（3.2％）を上回った（+5.4％ポイント）。「増える－減る」のポイントは、2024年卒の+5.9％ポイントから+5.4％ポイントへ、0.5％ポイント微減した。
- 2025年卒の採用見通しは「増える」が2024年卒の8.2％から8.6％へ0.4％ポイント微増した。また、「減る」は2024年卒の2.3％から3.2％へ0.9％ポイント増加した。
- 「わからない」は19.5％で、2024年卒（20.6％）から1.1％ポイント減少している。また、この値はコロナ禍前の2021年卒の採用見通し（19.4％）と同水準であり（10ページ 図表9）、採用人数の方針が明確化した企業が増加している。

■ 図表4 2025年卒者の新卒採用見通し（高校生）



注：一昨年末まで「無回答」の項目を掲載していたが、0社であったため、省略した

特に大手企業で、「増える－減る」のポイントが高い

- 従業員規模別に見ると、全ての従業員規模において「増える」が「減る」を上回った。
- 従業員規模が大きいほど採用意欲が高く、特に5000人以上企業では+10.1%ポイントであった（2024年卒の採用見通しでは、+10%ポイントを超える従業員規模はなかった）（\*）。
- 2024年卒と比較して、「増える－減る」のポイントは1000人未満の各従業員規模で横ばいから減少傾向に、1000人以上の各従業員規模では横ばいから増加傾向となった。大手企業ほど、高校生に対する採用意欲が増加している（\*）。

（\*）リクルートワークス研究所「ワークス採用見通し調査（新卒：2024年卒）」

■ 図表5 従業員規模別 2025年卒者の新卒採用見通し（高校生）

（%ポイント）

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える －減る
<b>全 体</b>	<b>4306</b>	<b>8.6%</b>	<b>37.2%</b>	<b>3.2%</b>	<b>19.5%</b>	<b>31.5%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+5.4</b>
<b>1000人未満</b>	<b>3256</b>	<b>7.8%</b>	<b>35.6%</b>	<b>3.3%</b>	<b>19.7%</b>	<b>33.6%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+4.5</b>
5～99人	917	4.1%	24.4%	2.1%	25.6%	43.7%	0.0%	+2.0
100～299人	1159	7.8%	37.5%	3.2%	19.6%	31.9%	0.0%	+4.6
300～999人	1180	10.8%	42.3%	4.3%	15.3%	27.3%	0.0%	+6.5
<b>1000人以上</b>	<b>1050</b>	<b>11.1%</b>	<b>42.4%</b>	<b>2.8%</b>	<b>18.6%</b>	<b>25.1%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+8.3</b>
1000～1999人	495	9.3%	46.1%	1.6%	18.4%	24.6%	0.0%	+7.7
2000～4999人	338	12.1%	39.1%	3.8%	17.8%	27.2%	0.0%	+8.3
5000人以上	217	13.8%	39.2%	3.7%	20.3%	23.0%	0.0%	+10.1

<参考> 従業員規模別 2024年卒者の新卒採用見通し（高校生）

（%ポイント）

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える －減る
1000人未満	3248	7.7%	34.4%	2.3%	20.8%	34.8%	0.0%	+5.4
1000人以上	1093	9.6%	42.8%	2.3%	20.1%	25.2%	0.0%	+7.3

## 飲食店・宿泊業での採用意欲の増加が顕著

- 業種別で見ると、大分類については、全ての業種で「増える」が「減る」を上回った。製造業については、2024年卒の採用見通しの+9.8%ポイントに比べて2025年卒の採用見通しでは+8.0%ポイントと1.8%ポイント減少したものの、採用意欲が高い傾向は2024年卒の採用見通しと同様である。流通業では+4.0%ポイントから+6.2%ポイントへ2.2%ポイント増加、金融業では+3.1%ポイントから+3.3%ポイントへ微増した。
- 中分類で見ると、「増える」が「減る」を大きく上回ったのは、飲食店・宿泊業（+15.2%ポイント）、機械器具製造業（+8.8%ポイント）、小売業（+8.2%ポイント）、製造業（機械以外）（+7.5%ポイント）であった。これら4つの業種は「以前も今後も採用しない」と回答している企業の割合が他の業種に比べて低めであり、高校生採用を積極的に実施している。

■ 図表6 業種別 2025年卒者の新卒採用見通し（高校生）

(%ポイント)

業種大分類	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える－減る
建設業	397	8.1%	48.6%	5.5%	17.6%	20.2%	0.0%	+2.6
製造業	1355	11.7%	48.3%	3.7%	21.4%	14.8%	0.0%	+8.0
流通業	695	9.1%	33.4%	2.9%	16.3%	38.4%	0.0%	+6.2
金融業	210	5.7%	32.9%	2.4%	18.1%	41.0%	0.0%	+3.3
サービス・情報業	1608	6.5%	27.5%	2.4%	19.7%	43.8%	0.0%	+4.1

業種中分類	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える－減る
建設業	397	8.1%	48.6%	5.5%	17.6%	20.2%	0.0%	+2.6
製造業（機械以外）	766	11.0%	46.0%	3.5%	24.0%	15.5%	0.0%	+7.5
機械器具製造業	589	12.7%	51.4%	3.9%	18.0%	13.9%	0.0%	+8.8
※電気・ガス・熱供給・水道業	37	2.7%	45.9%	2.7%	24.3%	24.3%	0.0%	0
情報通信業	336	1.2%	17.6%	0.6%	13.4%	67.3%	0.0%	+0.6
運輸業	351	8.3%	30.8%	2.0%	22.8%	36.2%	0.0%	+6.3
卸売業	350	5.4%	26.6%	1.1%	18.0%	48.9%	0.0%	+4.3
小売業	345	12.8%	40.3%	4.6%	14.5%	27.8%	0.0%	+8.2
金融・保険業	210	5.7%	32.9%	2.4%	18.1%	41.0%	0.0%	+3.3
※不動産業	68	2.9%	19.1%	1.5%	8.8%	67.6%	0.0%	+1.4
飲食店・宿泊業	152	21.1%	33.6%	5.9%	21.1%	18.4%	0.0%	+15.2
医療・福祉	268	6.7%	34.3%	2.2%	27.2%	29.5%	0.0%	+4.5
※教育・学習支援業	79	0.0%	12.7%	0.0%	12.7%	74.7%	0.0%	0
サービス業（他に分類されないもの）	317	6.0%	29.3%	4.1%	19.2%	41.3%	0.0%	+1.9

注：※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして掲載

## &lt;参考&gt; 業種別 2024年卒者の新卒採用見通し（高校生）

(%ポイント)

業種大分類	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える－減る
建設業	329	7.0%	49.5%	3.0%	17.0%	23.4%	0.0%	+4.0
製造業	1411	12.7%	44.9%	2.9%	23.5%	15.9%	0.0%	+9.8
流通業	749	6.5%	33.9%	2.5%	17.9%	39.1%	0.0%	+4.0
金融業	226	4.4%	36.7%	1.3%	23.9%	33.6%	0.0%	+3.1
サービス・情報業	1583	6.0%	27.5%	1.6%	19.4%	45.5%	0.0%	+4.4

注：業種大分類において、「製造業」は中分類の製造業（機械以外）、機械器具製造業、「流通業」は卸売業、小売業、「サービス・情報業」は電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、不動産業、飲食店・宿泊業、医療・福祉、教育・学習支援業、サービス業（他に分類されないもの）を含む分類である

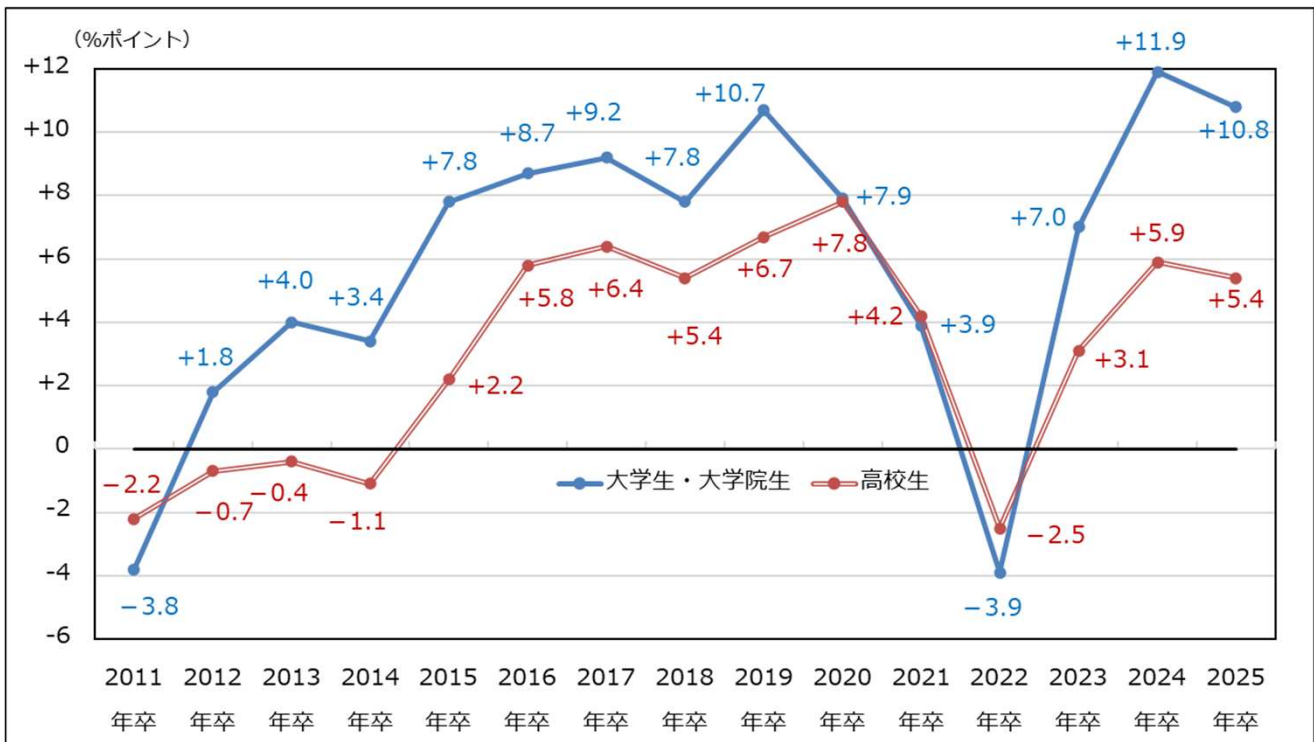


「増える－減る」のポイントは減少したものの、採用意欲は引き続き高い傾向

- 大学生・大学院生の新卒採用見通しにおいて、「増える－減る」のポイントは+10.8%ポイントとなり、前年に比べて1.1%ポイント減となった。2022年卒はコロナ禍のため、10年間続いた採用数増加傾向がマイナスに転じたが、2023年卒でプラスになり、2024年卒でさらに上昇した。2025年卒では2023年卒以降の上昇が落ち着いた形ではあるが、「増える」の割合は15.6%でコロナ禍前のピークである2019年卒の採用見通しの15.8%に近い水準であり（10ページ 図表8）、採用意欲が高い傾向が続いている。
- 大学生・大学院生の新卒採用見通しにおいて、「わからない」と回答した企業は2024年卒の22.6%から21.8%へ、-0.8%ポイントと減少した（10ページ 図表8）。コロナ禍の影響のため採用人数の見通しが不明確であった2022年卒の26.1%から、年々割合が減少している。徐々に2018年卒～2021年卒頃の水準に近づいてきており、さまざまな不確実性を脱し、採用計画を明確にする企業が増えている状況と考えられる。
- 高校生の新卒採用見通しにおいても大学生・大学院生と同様、「増える－減る」のポイントは低下したが、「増える」が「減る」を上回っており、採用意欲は高い状況である。2022年卒は2014年卒以来、8年ぶりに「増える」が「減る」を下回ったが、2023年卒と2024年卒で「増える－減る」のポイントが上昇した。2025年卒では+5.4%ポイントと前年に比べて微減となった。

（注）「増える」「減る」については前年の採用数との比較となるため、過去のどの時点の採用予定数と同水準か、といった比較や、採用人数の水準そのものの比較ではないことに注意。

■ 図表7 「増える－減る」の%ポイントの前年比較の推移



■ 図表8 大学生・大学院生の新卒採用見通し

(%ポイント)

	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える-減る
2025年卒	15.6%	47.7%	4.8%	21.8%	10.1%	0.0%	+10.8
2024年卒	15.5%	46.7%	3.6%	22.6%	11.7%	0.0%	+11.9
2023年卒	10.9%	49.4%	3.9%	24.1%	11.7%	0.0%	+7.0
2022年卒	7.7%	45.0%	11.6%	26.1%	9.5%	0.0%	-3.9
2021年卒	11.5%	50.8%	7.6%	19.7%	10.3%	0.0%	+3.9
2020年卒	13.8%	49.6%	5.9%	19.8%	10.9%	0.0%	+7.9
2019年卒	15.8%	48.6%	5.1%	19.5%	11.0%	0.1%	+10.7
2018年卒	13.5%	48.8%	5.7%	20.7%	11.1%	0.1%	+7.8
2017年卒	13.4%	48.1%	4.2%	24.1%	10.1%	0.1%	+9.2
2016年卒	14.0%	46.8%	5.3%	24.4%	9.3%	0.2%	+8.7
2015年卒	13.3%	47.5%	5.5%	24.1%	9.5%	0.1%	+7.8
2014年卒	10.3%	47.6%	6.9%	25.8%	9.2%	0.2%	+3.4
2013年卒	10.4%	50.0%	6.4%	25.1%	7.9%	0.1%	+4.0
2012年卒	9.3%	47.1%	7.5%	28.6%	7.5%	0.1%	+1.8
2011年卒	5.5%	40.1%	9.3%	36.6%	8.3%	0.1%	-3.8
2010年卒	8.3%	50.6%	15.7%	25.1%	-	0.3%	-7.4
2009年卒	18.0%	54.9%	6.8%	19.9%	-	0.4%	+11.2
2008年卒	22.7%	46.4%	6.9%	21.4%	-	2.7%	+15.8

■ 図表9 高校生の新卒採用見通し

(%ポイント)

	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	増える-減る
2025年卒	8.6%	37.2%	3.2%	19.5%	31.5%	0.0%	+5.4
2024年卒	8.2%	36.5%	2.3%	20.6%	32.4%	0.0%	+5.9
2023年卒	5.8%	34.7%	2.7%	22.9%	33.8%	0.0%	+3.1
2022年卒	4.3%	33.9%	6.8%	31.3%	23.7%	0.0%	-2.5
2021年卒	8.8%	36.7%	4.6%	19.4%	30.5%	0.0%	+4.2
2020年卒	10.7%	34.1%	2.9%	19.9%	32.3%	0.0%	+7.8
2019年卒	10.0%	31.6%	3.3%	20.1%	34.9%	0.1%	+6.7
2018年卒	8.3%	33.6%	2.9%	21.1%	34.0%	0.1%	+5.4
2017年卒	8.9%	31.4%	2.5%	22.7%	34.3%	0.1%	+6.4
2016年卒	8.4%	29.9%	2.6%	25.2%	33.7%	0.2%	+5.8
2015年卒	5.8%	28.9%	3.6%	22.7%	38.9%	0.1%	+2.2
2014年卒	4.0%	28.1%	5.1%	24.6%	38.1%	0.2%	-1.1
2013年卒	3.2%	27.8%	3.6%	25.5%	39.7%	0.1%	-0.4
2012年卒	3.4%	26.7%	4.1%	28.2%	37.4%	0.2%	-0.7
2011年卒	3.1%	29.8%	5.3%	38.3%	23.3%	0.0%	-2.2
2010年卒	4.9%	62.0%	7.9%	24.6%	-	0.5%	-3.0

注1：高校生の新卒採用見通しは2010年卒より調査している

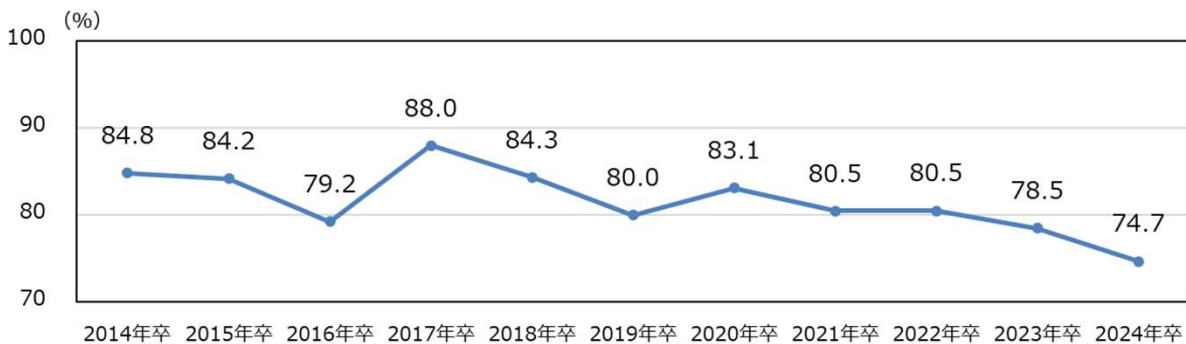
注2：2010年卒以前は、採用の見通しを質問する際に、「以前も今後も採用しない」を選択肢に入れておらず、2011年卒以降と2010年卒以前は単純比較できないため、参考データとして掲載

### 過去11年間で最も低い充足率

- 2024年卒の新卒採用の10月1日時点での充足率（=2023年10月1日時点の内定数÷2023年4月時点の採用予定数）は74.7%となり、比較可能な2014年卒以降、11年間で最も低い水準となった。
- 従業員規模別に見ると、充足率は5000人以上企業が90.3%、1000～4999人企業が93.5%、300～999人企業が80.8%、5～299人企業が60.0%であり、1000～4999人企業を除く全ての従業員規模で充足率が減少した。規模の大きい企業ほど計画通りの採用を行うという傾向は前年と同様だが、例年に比べて5000人以上企業の充足率が低い結果となった。
- 業種別に見ると、建設業が49.1%と最も低く、2023年卒の67.0%から17.9ポイント減少した。2022年卒の54.2%とおおむね同水準（\*）であり、計画通りに採用が進んでいない状況とみられる。一方、金融業は63.7%から72.9%と9.2ポイント増加した。その他では、製造業で83.5%から78.7%と-4.8ポイント、サービス・情報業では80.8%から77.7%と-3.1ポイントとなった。流通業はおおむね2023年卒と同水準であった。

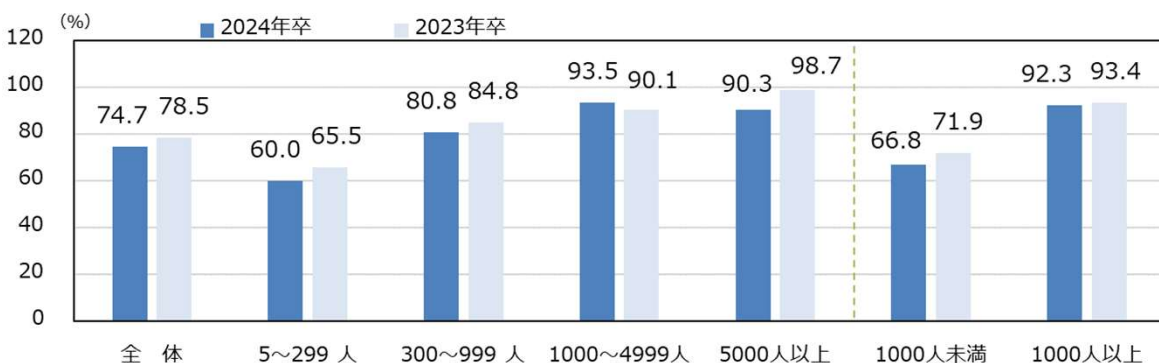
（\*）リクルートワークス研究所「ワークス採用見通し調査（新卒：2024年卒）」に掲載

### ■ 図表10 新卒採用の充足率の推移

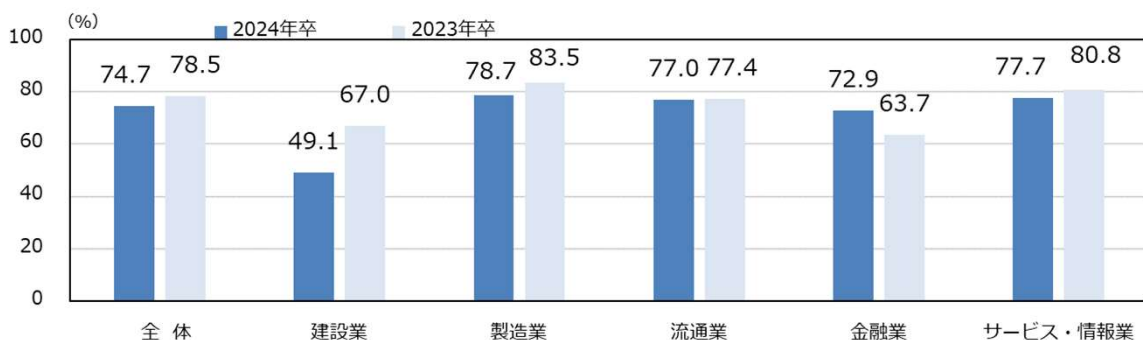


注：コロナ禍による急激な景況感の変化を踏まえ、通常は卒年の前年4月時点での採用予定数のところ、2021年卒は卒年の前年6月時点での採用予定数を用いて算出しているため単純比較はできない

### ■ 図表11 従業員規模別 新卒採用の充足率



### ■ 図表12 業種別 新卒採用の充足率



## 全体では3割弱の企業がタイプ3インターンシップを実施済・実施予定

- キャリア形成支援活動のうち、汎用的能力・専門活用型インターンシップ（タイプ3）（\*）の実施状況について尋ねた。
  - 全体では「実施済・実施予定」が27.6%であり、3割弱の企業がタイプ3インターンシップの実施見込みであることが分かった。
  - 業種別に見ると、大分類では「実施済・実施予定」は建設業（37.5%）と製造業（33.7%）で高い結果となった。また、中分類で「実施済・実施予定」が高いのは機械器具製造業（44.1%）、建設業（37.5%）、小売業（34.2%）、情報通信業（33.3%）であった。「実施済・実施予定」が最も低いのは運輸業（12.8%）であった。
  - 従業員規模別に見ると、「実施済・実施予定」は5～299人企業で17.7%、300～999人企業で32.0%、1000～4999人企業で39.3%、5000人以上企業で53.5%となっており、従業員規模が大きいほど「実施済・実施予定」が高く、「実施しない」は従業員規模が大きいほど低い結果となった。
- （\*）就業体験を含む実施期間5日間以上等の条件で、取得した学生情報を採用活動に活用可能な形態のインターンシップ

■ 図表13 汎用的能力・専門活用型インターンシップ（タイプ3）の実施状況（大学生・大学院生）

		社数	実施済・実施予定	実施しない	未定	このインターンシップについて知らない	不明
全体		4306	27.6%	46.0%	21.1%	5.3%	0.0%
業種別 (大分類)	建設業	397	37.5%	36.8%	19.6%	6.0%	0.0%
	製造業	1355	33.7%	40.7%	21.4%	4.2%	0.0%
	流通業	695	26.6%	48.9%	21.0%	3.5%	0.0%
	金融業	210	20.0%	54.3%	23.3%	1.9%	0.5%
	サービス・情報業	1608	21.6%	50.2%	21.0%	7.2%	0.1%
業種別 (中分類)	建設業	397	37.5%	36.8%	19.6%	6.0%	0.0%
	製造業（機械以外）	766	25.6%	46.9%	22.5%	5.1%	0.0%
	機械器具製造業	589	44.1%	32.8%	20.0%	3.1%	0.0%
	※電気・ガス・熱供給・水道業	37	21.6%	40.5%	32.4%	5.4%	0.0%
	情報通信業	336	33.3%	46.4%	17.3%	3.0%	0.0%
	運輸業	351	12.8%	57.5%	21.9%	7.7%	0.0%
	卸売業	350	19.1%	57.4%	19.7%	3.7%	0.0%
	小売業	345	34.2%	40.3%	22.3%	3.2%	0.0%
	金融・保険業	210	20.0%	54.3%	23.3%	1.9%	0.5%
	※不動産業	68	30.9%	52.9%	11.8%	4.4%	0.0%
	飲食店・宿泊業	152	27.6%	47.4%	20.4%	4.6%	0.0%
	医療・福祉	268	14.6%	43.3%	26.9%	15.3%	0.0%
	※教育・学習支援業	79	13.9%	64.6%	16.5%	5.1%	0.0%
	サービス業（他に分類されないもの）	317	21.8%	50.5%	20.8%	6.6%	0.3%
従業員 規模別	5～299人	2076	17.7%	52.9%	21.3%	8.0%	0.0%
	300～999人	1180	32.0%	41.7%	22.0%	4.2%	0.1%
	1000～4999人	833	39.3%	38.5%	20.9%	1.3%	0.0%
	5000人以上	217	53.5%	30.9%	14.7%	0.9%	0.0%

注：※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして掲載

## 大手企業ほど理解促進を、中小企業ほど専門人材へのアプローチを目的にしている

- キャリア形成支援活動のうち、汎用的能力・専門活用型インターンシップ（タイプ3）の実施目的について単一回答で尋ねた。
- 全体では「学生の企業・仕事理解の促進」が65.8%と最も高く、次いで「専門人材への早期アプローチ」が21.0%、「学生のスキル・適性の見極め」が9.3%、「実施競合への対応」が2.2%であった。企業側の目的としては、自社や仕事について知ってもらうためのインターンシップとなっているようである。
- 業種別に見ると、製造業では「学生のスキル・適性の見極め」が10.5%、「専門人材への早期アプローチ」が26.1%と他の業種より高い。また、流通業では「学生の企業・仕事理解の促進」が77.8%と他の業種より高い結果となった。なお、この選択肢に対する回答率は最も低い製造業でも60.5%となっており、全体的に「学生の企業・仕事理解の促進」が主要な目的になっている。
- 従業員規模別に見ると、「学生の企業・仕事理解の促進」は、5～299人企業で61.9%、300～999人企業で64.8%、1000～4999人企業で69.7%、5000人以上企業で70.7%となっており、大手企業ほどこの目的でタイプ3にあたるインターンシップを実施する割合が高い。また、「専門人材への早期アプローチ」については、5～299人企業で22.3%、300～999人企業で23.8%、1000～4999人企業で18.3%、5000人以上企業で15.5%となっており、中小企業の方がこの目的でタイプ3にあたるインターンシップを実施する割合が高い傾向が見られた。

■ 図表14 汎用的能力・専門活用型インターンシップ（タイプ3）の実施目的（大学生・大学院生）

	社数	学生の スキル・適性 の見極め	学生の 企業・仕事 理解の促進	専門人材 への早期 アプローチ	実施競合 への対応	その他	特になし・ 不明	
全体	1188	9.3%	65.8%	21.0%	2.2%	1.3%	0.3%	
業種別 (大分類)	建設業	149	4.7%	67.1%	24.8%	2.0%	1.3%	0.0%
	製造業	456	10.5%	60.5%	26.1%	1.3%	1.3%	0.2%
	流通業	185	8.6%	77.8%	8.6%	3.2%	1.6%	0.0%
	※金融業	42	7.1%	76.2%	7.1%	7.1%	2.4%	0.0%
	サービス・情報業	347	10.7%	64.3%	21.0%	2.3%	1.2%	0.6%
従業員 規模別	5～299人	367	10.6%	61.9%	22.3%	2.5%	2.5%	0.3%
	300～999人	378	8.5%	64.8%	23.8%	1.6%	0.8%	0.5%
	1000～4999人	327	8.9%	69.7%	18.3%	2.4%	0.6%	0.0%
	5000人以上	116	9.5%	70.7%	15.5%	2.6%	1.7%	0.0%

注：※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして掲載。また、前項では業種別の結果を中分類まで示したが、ここでは実施状況が「実施済・実施予定」の企業に絞られることから、サンプルサイズの関係で大分類の結果のみを表示した

<建設業>

業種名
総合工事業
設備工事業、職別工事業 (大工、とび、左官、石工など)

<製造業>

業種名
食品
繊維
化学・紙・石油
医薬・化粧品
ゴム・ガラス・セラミックス
鉄鋼・非鉄金属・金属
機械・プラント・エンジニアリング
総合電機
重電・産業用電気機器
コンピュータ・通信機器・OA機器関連
家電・AV機器
ゲーム・アミューズメント機器
半導体・電子・電気部品
その他の電気機械器具製造業
自動車・鉄道・航空機等製造、 同部品製造
精密機械器具製造業
印刷関連
その他の製造業

<流通業>

業種名
商社
百貨店
スーパー・DIY・生活協同組合
専門店(複合)
専門店(洋装品・呉服)
専門店(自動車関連)
専門店(電気製品)
専門店(カメラ・メガネ・貴金属・皮革・ スポーツ用品・楽器 その他)

<金融業>

業種名
銀行
信託銀行
労働金庫・信用金庫・信用組合
証券
生命保険・損害保険
クレジット
その他金融(投資業・ベンチャーキャピタル・ 消費者金融 その他)

<サービス・情報業>

業種名
通信
放送業
情報サービス・調査業 (ソフトウェア業、 情報処理業、コンピュータ修理など)
インターネット付随サービス業
映像・音声・文字情報制作業 (映画・ビデオ・テレビ番組・レコード・ラジ オ番組制作業、新聞業、出版業)
不動産
鉄道、道路旅客運送業
道路貨物運送業
倉庫業
旅行業および 運輸に付帯するサービス業
海運・航空・その他の運輸業
電力・ガス・水道・エネルギー
飲食店
旅館、ホテル、レジャー
医療・福祉
教育・学習支援
物品賃貸業
広告代理業
専門サービス業 (法律事務所、税務事 務所、デザイン業、広告制作業、コンサル タントなど)
その他の事業サービス業 (理美容関 連、消毒、ビルメンテナンス、職業紹介、 清掃事業、その他生活関連サービス業)
その他のサービス業 (自動車整備業、 機械等修理業、協同組合、廃棄物処理 業、学術研究機関、宗教、経済団体など)

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ： <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート： <https://www.recruit.co.jp/>